

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-2		事業名	公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業			
担当	環境局環境都市推進部エネルギー対策課 齊藤 211-2872						
全体計画							
事業内容	行政の率先行動を市民・事業者へ波及させる取り組みのひとつとして、公共施設へ省エネ・新エネ技術を率先して導入していく必要がある。 公共施設の新築・改築・改修の計画段階から、省エネ・新エネ技術導入を検討し、予算化に努める制度を目指す。更に、導入効果の検証と市民や事業者への情報を公開し、普及展開を図る。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度 ・公共施設への省エネ・新エネ導入指針策定			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	業務委託 ・基礎調査(バイオマス、都市排熱) ・普及活動			業務委託 ・エネルギー技術導入検証 ・エネルギーWEB作成 ・エネルギーパンフレット作成 ・エネルギーパネル等企画作成			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)		-	1カ所	2カ所	3カ所	4カ所	4カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 本市公共施設への導入実績及び効果を、ホームページにより公表を行う。							
企業等との連携・協働 [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] - [その他の協力] - 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-2		事業名	公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業		
評価(成果)				課題		
<p>省エネ・新エネ業務サポートページで構築した共有システムにより、専門的な省エネ・新エネの導入検討が容易になり、関連施設の導入実績を参照することが可能となった。</p> <p>また、公共施設への省エネ・新エネ導入指針の策定により、計画段階での導入検討が行われ、仕組みづくりの第1歩が動き出した。</p>				<p>率先導入に当たり省エネ・新エネの導入に係る財源確保が必要である。</p>		
今後の事業の予定・方向						
<p>札幌市環境基本計画、また札幌市温暖化対策推進計画を実現するために省エネ・新エネ導入について本市としての方針決定をおこない公共施設への率先導入を推進していく。又その導入効果等の情報提供をおこない、民間への導入を推進する。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債 その他 一般財源					
予算	事業費	8,251	7,332	-	-	15,583
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0 0 8,251	0 0 7,332			0 0 15,583
実績	事業費	6,782	-	-	-	6,782
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0 6,782 0				0 6,782 0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						